



常陽中学校だより No.5 H26.7.18

一学期も修了し、いよいよ長い夏休みを迎えます。休み中の過ごし方で二学期以降の生活がずい分と変わってきます。特に三年生は補習、オープンハイスクールなど積極的に活動して下さい。きっと、プラスに働きます。

粘りが出てきた常陽中学生(7月7日朝礼の話)

7月5日の土曜日から夏の総合体育大会が始まりました。応援していて気づいたことは、「粘りが出てきた」ということです。先制されたりピンチになっても耐えられるようになってきました。攻撃でも守備でも集中力がついてきました。そして、顧問の先生からの指示が通るようになってきました。この三点で君たちが成長したなと感じました。

勝ち・負けには運もあります。しかし、元野球監督の野村克也さんが言っていました、「勝ちに不思議の勝ち有り、負けに不思議の負けなし」と。つまり、運良く勝てたなと感じることはあっても、何故負けてしまったのか不思議だと感じることはないそうです。努力の積み重ねが上手く働き、勝ちにつながることはあっても、手を抜くと必ず負けてしまうということでしょう。

私は試合中の選手の表情をじっと観察していましたが、みんな集中した良い目をしていました。できれば授業中の表情も同じであって欲しいのです。こんないい顔をするんだとあらためて実感しました。

負けたからといって意気消沈することはありません。全国優勝しない限りいずれみんな負けます。負けたひとは悔しい思いをしたことですが、自分の努力を出し切ったのなら自信を持って下さい。

ところで、どうして今年は粘れるようになってきたのでしょうか？それは偶然ではなく、みんなの普段の生活態度、授業態度、友達との関係、そして、先生との関係等全てがよくなってきたからだと思っています。今、武庫地区の育友会役員の方々の間では、常陽中学生の評判がグングンとよくなっています。皆さんが努力し頑張るほど周りの方々も高く評価してくれます。それが励みになってますます努力をするというプラスの循環が出てきました。こういう時こそ自分を伸ばせるだけ伸ばして下さい。

実りの秋を迎えるために

個人懇談会で担任の先生から沢山のアドバイスをもらったことでしょう。今日、通知票が渡されます。通知票には一学期間の努力が評価されています。じっくりとこの4ヶ月を振り返って下さい。その上で、自分自身で休み中の計画を練って下さい。私からのアドバイスは次の二つです。

まず、規則正しい生活を送ることです。そのためには決めた時間に寝て、朝はいつも通りの時刻に起きること、これに尽きます。学習や運動は規則正しい生活があってこそです。

次に学習面です。夏休み中に何を勉強すればよいか分からない人はいませんか？そんな人は一学期の中間テスト、期末テストの問題をもう一度やり直して下さい。勿論、すでに買っている問題集をするのもよいでしょう。もし、これから問題集を買おうとしている人がいるならば、薄くて問題の数が少ないものをおすすめです。分厚い問題集を最後までやりきることは難しいです。それよりも薄い問題集を二・三回やり直す方がずっと効果的です。

では、有意義な夏休みを送って下さい。